

道北

お菓子販売の夢を叶え 笑顔のお手伝いを

旭川市 岩戸 月香^{つきか}



札幌に家族旅行。北海道知事公館庭園マリア像の前で
叔母さんと弟と（右端）

私は、平成27年から高校の3年間、奨学金をいただいていた。私の夢は幼いころから、お菓子を販売することでした。その為、高校は食品の勉強ができる学校を選びました。

そして、高校に入学後に奨学金をいただくことが出来、その時々で、参考書の購入や資格試験の検定料、修学旅行の費用、企業見学

の交通費などに使わせてもらい、とても感謝しています。自分の夢に少しでも近づぐことが出来た高校生活を送ることが出来ました。

現在は、高校を卒業し旭川市内に就職して、お菓子の販売員をしています。お菓子の

販売を通じて、みんなの笑顔のお手伝いをしていけたらと思っております。まだ社会人2年目で失敗することもありますが、これからも目標に向かって努力を続けていきます。

そのことが社会貢献になり、奨学金をご支援くださったかたへの恩返しになるのではと考えています。本当に有難うございました。

令和元年度も
道新振興基金さん、
北洋銀行さん、
みどりところの
基金さんから
助成をいただき、
338名に奨学金が
給付されました。

夢と希望に 奨学金を生



道南

姉妹で医療従事者へ

せたな町 尾山樹莉亜^{きりあ}
(札幌在住)



授業中は集中しています（左端）

四人で暮らし、今は姉と私二人暮らしで母子家庭という母の収入だけでは今の暮らしができない中に入ります。ですが、奨学金のおかげで大学にも通えて、裕福ではないですが、食に困ることなく過ごせていることに感謝しています。

私は将来地元に残り、在宅医療を広めていきたいです。そのためにも、北海道医療大学でしっかりと看護を学び、患者が求めるケアを提供できる立派な医療従事者になり、母へ親孝行したいです。

高校生の折にいただいた奨学金に心から感謝し、社会に役立つ仕事で恩返しできればと思っています。

私の姉は、私と同じ北海道医療大学で薬剤師を目指すため、通っています。その時点でお金がかかるのはわかっていますが、それでも母は、私が看護師になりたいと口にしたら、迷わず、頑張って姉妹で医療系について!!と応援してくれました。私も大学に通うことでお金も更にかかり、負担が大きくなるのが承知の上、北海道医療大学に通わせてもらっています。そのため、私達姉妹は、奨学金を借り、夢へと少しずつ近づいています。私の家庭は、母と姉、私と弟の



北海道医療大学の友人達と（左端）